

第6期 第1四半期報告書



株式会社 旅籠屋本店

平成 11 年 11 月 15 日

第 1 四半期報告書

(平成 11 年 7 月 1 日 ~ 平成 11 年 9 月 30 日)

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋本店
英文名 (英文商号)	Hatagoya Honten Co., Ltd
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号 旅籠屋ビル 3 階
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

四半期の業績

(1) 経営成績

損益の状況	第 1 四半期	前年同期
(単位: 千円)	H11.7.1 ~ H11.9.30	H10.7.1 ~ H10.9.30
売上高	14,406	14,038
営業費用	13,797	13,262
営業利益	609	775
営業外収益	4	3
営業外費用	299	-
経常利益	314	759
特別利益	-	-
特別損失	-	-
当期利益	314	779
前期繰越損益	45,982	27,098
当期未処理損益	45,669	26,318

期中平均発行済株式総数	3,000 株	3,000 株
1株当たり当期損益	104 円	260 円

(2) 財政状態

財政状況	第 1 四半期末	前期末
(単位：千円)	H11.9.30	H11.6.30
(資産の部)		
流動資産計	1 4 , 8 8 3	2 , 7 0 5
現金預金	1 4 , 6 6 4	2 , 4 8 6
その他	2 1 9	2 1 9
固定資産計	1 2 5 , 1 6 9	1 1 9 , 9 8 0
有形固定資産	1 1 4 , 8 1 1	1 1 6 , 6 7 1
無形固定資産	2 2 5	2 2 5
借家保証金	7 , 0 0 0	0
長期前払い費用	3 , 0 3 3	3 , 0 8 3
投資等	1 0 0	0
資産合計	1 4 0 , 0 5 2	1 2 2 , 6 8 6
(負債の部)		
流動負債	3 2 1	1 , 2 6 8
固定負債 (長期借入金)	3 5 , 4 0 0	1 7 , 4 0 0
負債合計	3 5 , 7 2 1	1 8 , 6 6 8
(資本の部)		
資本金	1 5 0 , 0 0 0	1 5 0 , 0 0 0
剰余金		
当期末処理損益	4 5 , 6 6 9	4 5 , 9 8 2
(うち当期損益)	(3 1 4)	(1 8 , 8 8 5)
資本合計	1 0 4 , 3 3 1	1 0 4 , 0 1 8
負債資本合計	1 4 0 , 0 5 2	1 2 2 , 6 8 6
1株当たり純資産	3 4 , 7 7 7 円	3 4 , 6 7 3 円
発行済株式数	当四半期末 (平成11年9月末)	3,000 株
	前 期 末 (平成11年6月末)	3,000 株

(3) 財務諸表作成の基本となる事項

四半期財務諸表の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。

正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5 経理の状況1 計算書類」の重要な会計方針をご参照ください。

事業年度の財務諸表作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次の通りであります。

1. 固定資産の減価償却の方法

四半期に保有する有形固定資産及び長期前払費用の年間減価償却見積額の1/4に該当する金額を計上しております。

2. 経過勘定項目

未収収益、未払費用等の経過勘定項目の内、重要性の低い項目は資産及び負債に計上せずに期間費用として処理しております。

なお、当該四半期財務諸表については公認会計士の監査証明は受けておりません。

(4) 会計方針の変更

該当事項はございません。

(5) 資金の状況

現預金の増減	第1四半期
(単位：千円)	H11.7.1～ H11.9.30
期初現金預金残高	2,486
期末現金預金残高	14,664
当四半期の増減	+12,177

借入金が増減	第1四半期
(単位：千円)	H11.7.1～ H11.9.30
期初借入金残高	17,400
期末借入金残高	35,400
当四半期の増減	+18,000

借入金の内訳

甲斐 真氏(代表取締役)より

25,400千円(当四半期8,000千円増)

事業計画において経常損益が黒字化する2002年6月期までの3年間を支払据置期間とし、以後10年間で年利を長期プライムレート+0.1%の変動金利と設定し、元利均等で返済

朝日信用金庫より

10,000千円(当四半期新規借入れ)

台東区の中小企業制度融資を利用したもので、年利は1.2%、5年間元金均等で返済

事業の概況

(1) 当四半期 (平成 11 年 7 月 1 日 ~ 平成 11 年 9 月 30 日) の業績の概況

鬼怒川店の状況	第 1 四半期	前年同期
	H11.7.1 ~ H11.9.30	H10.7.1 ~ H10.9.30
客室稼働率	74.5%	73.8%
室料単価	12,310円	11,496円
売上合計	14,175,690円	13,891,125円
室料売上	13,492,500円	12,484,825円
室料外売上	683,190円	1,406,300円
運営費用合計	4,958,767円	6,010,496円
営業損益 (償却前)	9,216,923円	7,880,629円

当四半期の「鬼怒川店」の客室稼働率は75%近くで、前年同期微増と好調です。利用料金の高いトップシーズンの期間を拡大したため、稼働率のアップ以上に室料売上高が増加し、室料単価も約7%の増加となっております。

室料外売上については、近隣の娯楽施設の前売り券販売が半減したため、前年比大幅なマイナスとなっておりますが、これは前売り券の仕入数が減少したためであり、宿泊施設としての営業から派生した変動ではありません。

運営費用については、近隣の娯楽施設の前売り券の仕入高が大幅に減ったことなどにより、前年比100万円以上が減少し、結果として営業利益は約17%増加しております。

本社の状況	第 1 四半期	前年同期
	H11.7.1 ~ H11.9.30	H10.7.1 ~ H10.9.30
売上合計	230,299円	147,000円
費用合計 (償却前)	6,766,487円	5,202,294円
営業損益 (償却前)	6,536,188円	5,055,294円

本社の売上は、本社ビルの管理受託料および損害保険代理業務による手数料収入によるものです。

費用については、チェーン店のモデルプラン作成に関する社外設計スタッフへの委託費および週刊読売に掲載した企画広告 (ペイドパブ) が増えたため、前年同期に比べ約150万円の増加となっております。

償却費 (2,072千円) を考慮した鬼怒川店と本社の営業損益合計は (当四半期) は、609千円となります。

(2) 重要な契約の締結等

該当事項はございません。

当期の業績予想 (平成11年7月1日～平成12年6月30日)

	当期 (予想)	前期 (実績)
	H11.7.1～ H12.6.30	H10.7.1～ H11.6.30
売上高	38,600千円	37,850千円
経常損益	31,956千円	18,272千円
当期損益	33,534千円	18,884千円
1株当たり当期損益	6,734円	6,295円

今期の経常損失が拡大するのは、新規出店(3店舗予定)に伴う費用によるものであり、今後は「事業計画書」に記載した内容のとおり、平成14年6月期には黒字となる見込みです。

事業計画等の変更点

「事業計画書」に記載した内容のとおりであり、大きな変更点はありません。

以上